

平成 26 年度第 2 回江別市地域公共交通会議開催結果（要旨）

日 時 平成 27 年 1 月 26 日（月）10 時 00 分～11 時 26 分

場 所 江別市役所本庁舎 2 階西棟会議室

出席者 高野会長、高橋委員、四宮委員、井筒委員、下段委員、樋口委員

その他 一般社団法人北海道開発技術センター吉田研究員が出席

- 次 第
- 1 開 会
 - 2 報告事項
(1) 公共交通に関するアンケート調査報告について
 - 3 協議事項
(1) バス実証運行ルート等の検討について
 - 4 その他
 - 5 閉 会

(高野会長) 報告事項のアンケート調査について報告をお願いします。

(事務局) アンケート調査については、北海道開発技術センターで取りまとめしているので、こちらからご説明をお願いしたい。

(北海道開発技術センター) 【資料説明】

(高野会長) 総括的に路線を考えていく上での論点は。

(北海道開発技術センター) 大きく分けて、通勤、通学、買い物、通院で分けて現状の交通状況を見たところ。通院に関しては、ニーズとして市立病院が高いのではないかと。北側の地区であれば市立病院へ行きやすいところが見受けられるが、南側の地区については、行きにくく、ほぼ移動の手段が自動車の割合がかなり多くなっているところが見られる。

どういった路線を希望するかというところで、市内を周遊するような路線というようなご意見も多くなっているところもあわせると、野幌駅へのアクセスだけではなくて、そこから南側の地区と北側の地区を結びながら移動するような路線が一つのニーズとしてあるのかと感じている。

北側の地区では、通勤、通学といったところで特徴的と感じている。北側の地区から札幌市へ向かっているところが4割とかなり高い。このあたりの移動手段としてJRを使っている割合が大きい。JRまでの移動手段として徒歩で行かれています方、路線バスを使われている方というところで、地区によって大きく差がある。時間感覚として歩いていくのとバスで行くのとでそんなに差がないということが要因と感じている。

希望する路線としては、野幌駅への時間の短縮を図れるような路線が望ましいというご回答があるので、こういった部分に着目して、北側の地区から野幌駅へのアクセス性を高めるような路線がポイントになってくるのではないかと。

(高野会長) 質問はあるか。最後の方にこういう路線ができれば乗ってみたいというのがあるが、これについて何か特徴的なものはあるか。

(北海道開発技術センター) どこの地区でも野幌駅までの所要時間のニーズが高い。最終的な行先が札幌市ということで、場所によっては分けて考える必要があると感じている。

札幌駅中心部までの所要時間短縮に着目するのであれば、野幌駅だけを路線としてすべてがそこに向かうというわけではなくて、直接札幌市というのがあると思う。

(四宮委員) 現在も北地区からバスを運行しているが、アンケート結果をもとに少しでも利用者の利便性向上へできる限り検討したい。

(樋口委員) 所要時間の希望がこれだけあるのは、ぐるぐる回る系統が多いからなのかわからないが、その理由がどういうところからきているのか。

(事務局) 市全体のアンケートでは、北側地区は遠回りのルートで時間がかかってしまうというご意見があった。ストレートで行けるような路線、地区によっても違うと思うが、特に見晴台、新栄台あたりの方々がそのように感じているのではないかと見ている。それだけが原因かどうかわからないが、前回のアンケートではそのような傾向が読み取れるのではないか。

(高野会長) バス路線マップで、JRバスの野幌駅に入っているのが、運動公園線が南口にあり、大麻団地線が野幌から新札幌まで行っている。野幌をつなぐというより野幌から新札幌に行くという感じ。

中央バスは、江別2番通線が大麻から国道と並行して野幌を経由してあけぼの団地へ行く。つないではいるが横方向のイメージ。5番の緑色は、江別と野幌をつないではいるが循環的な機能もある。6番は、市立病院と見晴台、錦町を通過して野幌に行く。7番の江別錦町線が野幌とつないでいるイメージはあるかもしれない。

夕鉄バスは、1番の江別線があり、野幌南口を通過して4番通へ行っている。2番の札幌線は、野幌を通過するが札幌方面へ行っている。3番の札幌線も経由するイメージが強い。

どうしてもお客さんをたくさん乗せるといのがあって、スポットからスポットへというよりもそれをつなぐというので、短絡ルートがほしいということかもしれない。

次に実証運行について、一つの案としては、野幌駅北口の方から野幌駅へ、もう一つは、野幌の南の方から野幌駅へ、もう一つは、野幌の南側から市立病院まで野幌を経由して行くルートが考えられる。いろいろな制約があるので全部できるとはいかないが、どの案が良いのか。

(樋口委員) 今回の結果で北側、南側の方が、それぞれ南へ行きたい、北へ行きたいという意向がはっきり出ているかということ、そんなに見えない気がする。

(高野会長) 北から野幌、南から野幌のどちらかの案になるか。具体的にどういうルートが考えられるか。

(事務局) 今の路線の特徴は、北側のバス路線は駅にはつながっているが、駅と平行な流れになっている。南側は駅方向への流れはできている感じがする。3番通の北側の宅造地も人口が張り付いてかなり増えているので、駅方向のニーズがありながら駅方向に行きにくいということがある。もう一つは、札幌をはじめとして広域的な移動ニーズがかなりあることがわかってきているので、駅と生活圏とのつながりはかなり重要ではないかと考えている。

特にバスの市内線の利用者は減少しているが、JRの利用者は増えている。特に野幌駅は、定期の利用者と定期外の利用者の両方が増えてきている。駅は重要な拠点の一つと考えているので、駅周辺部の居住地との交通体系は一つのポイントになってくるのではないか。

(高野会長) 北側に線を引くとすれば、どういう線が引かれるか。

(事務局) 野幌駅北側の人口は、大体 38,000 人いる。南側が 18,000 人いる。野幌駅周辺部で人口の半分くらいいる。そのうち、駅の北側が 38,000 人いて、その半分くらいが 3 番通以北に張り付いている。そのうち、新栄台、見晴台の人口が半分を占めている。かなり人口は増えている地区であるので、この辺の方々が駅に行きやすいような形にできないだろうかと考えている。

(高野会長) 中央バスの 6 番、7 番は野幌までの路線となっている。これとどういう違う路線が引けるか。

(事務局) 道路状況が冬場になると 6 丁目などはかなり狭くなる。新栄通は道幅はある。

(高野会長) 人の張り付きはどうか。

(事務局) 見晴台と新栄台で大体同じくらいで、3 番通以北の半分を占める。

(高野会長) 事業者は如何か。

(井筒委員) 真っ直ぐ単に北から下がってきても、6 丁目通りにしても 7 丁目通にしても 8 丁目通にしても、各通りに出てこない意味がない。徒歩で歩ける範囲は、南口で高砂駅、江別高校あるが、これくらいは高校生は皆歩く。運動公園、情報大学までは徒歩は無理かと思うが、南大通を過ぎた緑地くらいまでは歩くと想定している。同じような考え方からすれば、3 番通くらいまでは徒歩で来ると思う。その上からの人たちを集めてくるとなると 4 番通を中央バスの路線のように行って戻るような形でないとお客さんは拾っていけないのではないか。

駅につながっているところで、また初乗り 170 円かかるかもしれないが、野幌駅まで行くと市立病院までまた 170 円、倍かかるかもしれないが方法はある。そのときにどれだけ許容範囲か。まったく陸の孤島のようなところはない。

(高橋委員) 南口はまだ開発されていない。道路の形態がどうなるかというのもあるので、今ここでやってもというのがある。

(高野会長) 実証運行の料金はどのように考えているか。

(事務局) 基本的にはこの会議でどういう設定をするかということと事業者の問題もあり、検討しないといけないので、ご意見はいただきたい。

(高野会長) 乗り継ぎ割引は難しいか。他社であっても同じバス会社であっても、複数の路線を乗り継いだ場合の割引とか。

(高橋委員) 自社完結であれば技術的にはできるとは思うが、複数の会社に跨るとするのはお互いにやり取りで難しいと思う。

(井筒所長) 新たに路線に車両と人員を用意して実証実験というような余裕がない。

(高野会長) 路線としては、今のニーズで3番、4番通以北でダイレクトに野幌に戻ってくるような、なおかつ現状の路線とそんなにラップしないというようなものはありそうか。

(四宮委員) 道路状況に影響してくると思う。縦方向は走行可能なところが多いが、横方向は狭い所が多い。

(高野会長) 3番か4番通どちらかを横方向をある程度走らなければいけないというがあるのか。

(四宮委員) 今の錦町線と4番通線をミックスしたような路線になるのかと思う。

(高野会長) 4番通線から錦町線へ下りていくようなイメージか。

今日の時点では、まだルートを絞り込まなくても、次回に案を出していただいて、その中でということか。

(事務局) そうです。

(高野会長) 南側の方は、話しはあまり出ていないが、次回の検討では北側に限ってということよろしいか。

(各委員) 【異議なし】

(高野会長) 見解としては、3番、4番通方向の人たちをスムーズに野幌駅に結び付けるということだろうし、南北通しということであると、市立病院の足をどうするかということがある。

市立病院で無料送迎バスを出しているところはあるか。札幌の地下鉄の駅から無料送迎バスが走っているのが結構ある。

(事務局) 今までのアンケート結果と皆様のご意見をいただいた中で、例えば北側の部分をどのようにしたら駅に人を集められるのかを中心に考えていった方がやりやすいと感じている。

市立病院は乗り継ぎなどの部分で検討ができないか、そのようなことを中心に考えていきたい。

南北間の移動に関しては、アンケートからは、あまり強い意向は見えていないので、今

のところは北側を中心に考えていくのが良いと考えている。

(高野会長) 乗り継ぎなどがうまくサービスできるようになると、野幌運動公園などへ北側からアクセスするのもかなりスムーズになる。

次回には具体的な実証路線案を作って、その中で議論いただくことになる。

(高橋委員) 既存の路線に手を付けるような形でやらないと中途半端になる。短くすると車と便数を増やさないとピストンできない。野幌駅と市立病院が遠い。

江別駅から2番通を通過して野幌駅、江別駅から3番通を通過して野幌駅、江別駅から4番通を通過して江別駅のようなラインでも作らない限り、市立病院の利便は上がらないのではないか。いろいろなバス停を効率よく走っている路線だと思う。

(高野会長) 市立病院へもっと短絡してほしいという意見はそんなにないか。

(事務局) そうです。

(高野会長) タ鉄バスの江別線で行こうとすると相当な時間がかかる。

(井筒委員) 昭和50年から40年走っている。

どこの人をどこに運ぶということがわかれば、その方がルートは作りやすい。

料金にしても180円、190円、3人乗ればタクシーで行ける。

(高野会長) 除雪の改善は何か、バスサービスの改善では乗り継ぎもそうだが、道路だけではなくてバス停まわりの除雪も課題として出てきたが、バス会社から何かあるか。

(高橋委員) 今年は雪が少ないので、きちんと対応いただいている。

(四宮委員) 狭い道路については除雪をきちんとすると近辺の住民が道路に排雪してしまうことが地区によってある。

(高野会長) 事務局から何かあるか。

(事務局) 今後に向けたスケジュールということで、実証運行の具体的な方向性等については3月までに取りまとめたい。

実証運行にあたっては、道路運送法上の地域公共交通会議という形で合意を得る必要がある。今の地域公共交通会議は道路運送法上の会議ではない。必要なメンバーを加えた拡充版の新会議という形で設置して実証運行の合意をしていきたいと考えている。

実証運行の期間は明確には決まっていないが、秋口くらいから冬にかけて考えている。

予算的には6月補正と書いているが、まだ確定していない。3月補正で出てくる可能性もある。概ねのスケジュールは、このような形で進めていきたいと考えている。

（高野会長）住民との意見交換は、特に実証運行の案を示さずにやるのか。

（事務局）具体的には決まっていないが、アンケート調査結果を踏まえて、どこの地域を聞いたらよいか絞り込んで意向などを含めて伺いたい。

（高野会長）他になければ終了する。